

令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

コンパス摂津



○事業所名	コンパス摂津		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 10日		～ 令和7年 9月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 20	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 5日		～ 令和7年 9月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通ってくる事業所、成長を感じられる事業所、安心して通ってもらえる事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	農福連携事業として、農業を同じ敷地で取り組んでおります。 田畑が同じ敷地内にあることによって、生き物に直接触れ合い、環境へ親しみや大切さを学べる環境となっております。	収穫や水やり等の活動を定期的におこなうことで、児童の食育に繋げております。 具体例として、苦手な野菜があった児童が自分で収穫した野菜は食べることが出来ておりました。	収穫した野菜を職員とともに調理し、味わい、楽しんでおります。 (長期休暇の際クッキング等計画するなど) 生き物をより観察し、特性を調べ知識を深めてまいります。 (虫取りをおこない、触れ合いを楽しむなど)
3	児童発達管理責任者・理学療法士・保育士・児童指導員・指導員、畑スタッフ等の幅広い職種の職員による支援を行っております。	チームとして支援の目標を明確に設定し、それに向けて各職種が役割を果たせるようにしております。 児童の状況変化に応じて、その都度ミーティングを行い支援計画を見直し必要な職員が対応しております。	それぞれの職種で得た知識を共有し専門知識を活かし実践しております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所がワンフロアなので、声が響きやすかったり、大きな動きのある活動がおこなえない場合があります。	建物自体は変えることが出来ませんが、事業所内の荷物をきちんと整理整頓して、見通しの良い環境を作ることばできています。	戸外のスペースを活用して運動や様々な活動がおこなえるように考えております。
2	HP等による発信が不十分で、児童や保護者様に必要な情報が届けられていない事案があります。	連絡帳に活動中の写真を掲載し、活動の様子を掲載していることを周知していきます。	活動の様子を発信していることを保護者様に伝えます。
	地域交流する場が多いとはいえない状態です。	利用時の安全を考え、おこなえていなかったが、近隣の方へのご挨拶や、季節のイベントを通して少しずつ交流の場を広げています。	公共の施設を利用する機会を増やしていきます。



公表日: 令和 8年 2月 5日